

へいせい24ねんど とりくみ 3かいじっし  
◆平成24年度の取組み（3回実施）

①サービス等利用計画の現状と課題について

サービス等利用計画を3年間で障害福祉サービス利用者全員に拡大するが、現状では指定

特定相談支援事業者が少ないこともあり、計画策定は進んでいない。

げんじょう かだい  
【現状の課題】

- ・質と量の問題：質を高めるためには、1件にかかる負担が大きく件数を増やせない。
- ・費用や人員確保の問題
- ・アセスメントの難しさ：聞き込むことが難しい。どのような社会資源が使えるのか。

②サービス等利用計画策定事例の検討から

第2回部会及び2回の定例会議において同じ事例を用いて検討を行う中で、この計画が本人

の最善の利益のためのものであり、本人の意向を踏まえたトータルな内容を盛り込む等、作成に

あたったの共通認識を構築した。

じれい かだい  
【事例からみえる課題】

- ・本人を支えるキーパーソンの存在、家族支援の必要性と難しさ、移動支援事業所探しの困難、相談支援事業者の負担の大きさ等。

### ③新福祉センター「障害者相談支援事業所」について

ちいき ちゅうかくてき やくわり になうきかん きかんそうだんしえん せっち  
地域における中核的な役割を担う機関である「基幹相談支援センター」として設置し、  
じぎょうしょかん れんけい きょうか はかって ひつよう いけん だ  
事業所間の連携の強化を図っていくことが必要であるという意見が出された。

#### 【設置に向けての課題】

しごと わくぐみ やくわりぶんたん めいかくか ひつよう しょうがい おおきなかだい  
・仕事の枠組みと役割分担の明確化が必要だが、3障害まとめるところに大きな課題  
がある。

### ④相談支援専門部会と定例会議のあり方について

こんねんど ぶかい やくわり とうりようけいかく たいおう ちゅうしん ぎろん  
今年度の部会の役割として、「サービス等利用計画」への対応を中心とするものとして議論を  
おこなった ていれいかいぎ じれいけんとう おこない ぎろん ふまえてぶかい かだい きょうつうりかい はかった  
行った。定例会議で事例検討を行い、そこでの議論を踏まえて部会で課題の共通理解を図った。

#### 【今後のあり方】

- ひきつづきていれいかいぎ じれいけんとう ふまえ そうだんしえんせんもんぶかい とうりようけいかく  
・引き続き定例会議での事例検討を踏まえ、相談支援専門部会でサービス等利用計画の  
けんとう かだいせいり とりくんで  
検討と課題整理ができるよう取り組んでいく。
- ていれいかいぎ かいさい けいぞく とうりようけいかく ふかめたぎろん  
・定例会議については開催を継続し、サービス等利用計画についてより深めた議論を  
おこなう ていれいてき かいさい  
行うこと、定例的に開催していくこととする。

### ◆相談支援専門部会 今後の方向性について

じょうき かいだい こんご ありかた そうだんしえんせんもんぶかい およびていれいかいぎ  
上記①～③における【課題】や④の【今後のあり方】について、相談支援専門部会及び定例会議  
にてひきつづきぎろん ふかめて  
引き続き議論を深めていく。